

みずほCustomer Desk Report 2019/01/10号(As of 2019/01/09)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.76
TKY 9:00AM	108.76	1.1458	124.59	GBP/USD	1.2738
SYD-NY High	109.01	1.1560	125.09	AUD/USD	0.7194
SYD-NY Low	107.97	1.1438	124.47		1.2715
NY 5:00 PM	108.15	1.1542	124.78		0.7135
NY DOW	23,879.12	91.67	日本2年債	-0.1500	0.00bp
NASDAQ	6,957.08	60.08	日本10年債	0.0300	3.00bp
S&P	2,584.96	10.55	米国2年債	2.55	▲3.36bp
日経平均	20,427.06	223.02	米国5年債	2.55	▲3.20bp
TOPIX	1,535.11	16.68	米国10年債	2.71	▲1.80bp
シカゴ日経先物	20,290.00	▲40.00	独10年債	0.2180	▲0.65bp
ロンドンFT	6,906.63	45.03	英10年債	1.26	▲1.00bp
DAX	10,893.32	89.34	豪10年債	2.3315	2.40bp
ハンセン指数	26,462.32	586.87	USDJPY 1M Vol	8.26	0.21%
上海総合	2,544.34	17.88	USDJPY 3M Vol	8.18	0.10%
NY金	1,292.00	6.10	USDJPY 6M Vol	8.28	0.09%
WTI	52.36	2.58	USDJPY 1M 25RR	-1.48	Yen Call Over
CRB指数	179.04	3.08	EURJPY 3M Vol	8.70	▲0.12%
ドルインデックス	95.19	▲0.72	EURJPY 6M Vol	8.90	▲0.15%

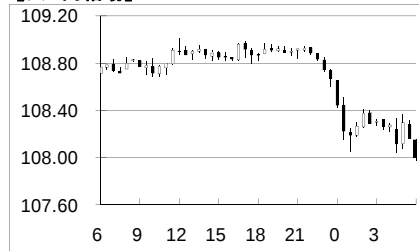
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月9日	22:20	米	ボスディック・アトランタ連銀総裁「政策は両サイドに動く可能性がある」	
	23:00	米	エヴァンス・シカゴ連銀総裁「2019年前半は経済指標を精査」	
1月10日	00:00	加	カナダ銀行翌日物貸出金利	1.75%
	01:30	米	ローゼングレン・ボストン連銀総裁「追加利上げ、見通し明確になるまで待つべき」	
	04:00	米	FOMC議事要旨	-

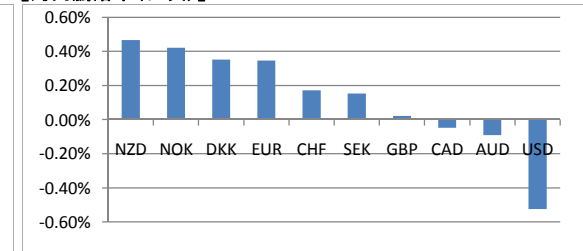
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月10日	10:30	中	CPI/PPI(前年比)	12月 2.1%/1.6% 2.2%/2.7%
	21:30	欧	ECB理事会議事要旨発表(12/12-13分)	-
	22:30	米	新規失業保険申請件数	226k 231k
	22:35	米	バーキン・リッチモンド連銀総裁講演	-
1月11日	02:00	米	パウエルFRB議長講演	-
	02:40	米	ブラード・セントルイス連銀総裁講演	-
	03:00	米	エバンス・シカゴ連銀総裁講演	-
	03:20	米	カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁講演	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.50-108.50	1.1450-1.1600	124.00-126.0

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は海外時間に下落する展開。きっかけとなったのはアトランタ連銀総裁の「政策は両サイドに動く可能性がある」「ダウンサイドリスクが全て具現化してくれば利下げも検討」との発言。初めてはっきりと利下げに言及したことでドル売りが持ち込まれ、ドル円は108円付近まで下落。加えて、米中通商協議に関して意見の相違があるとの報道がなされる局面ではドル円は108円を割れる展開になった。昨日はアトランタ連銀総裁の発言を契機に、米金利低下・米株上昇の動きが見られた。本日のドル円は株と債券の動きに挟まれ大きな方向感はないとされている。一方で、海外時間にFED高官の講演等を控えており、サプライズ(主にハト派)を伴う発言が見られたらドル円は下値を試す局面も想定されよう。(上野)

東京	東京時間のドル円は108.76レールでスタート。序盤はトランプ大統領の演説を控えるなか小幅な値動きに終始。演説では懸念されていた非常事態宣言についての言及はなく、ドル買いがやや強まるなかドル円は109.01まで上昇。その後同水準では伸び悩んだものの、日経平均株価の続伸や米中貿易協議による米中貿易摩擦緩和期待がドル円をサポートし、108円台後半での推移が継続。108.85レールで海外市場へと渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は108.85レールでオープン。目立ったヘッドラインがない中、本日は米国時間に連銀総裁コメントが複数予定されていたことから極めて狭いレンジで推移。欧州時間の値幅は20銭程度であった。108.88レールでNYに渡った。1.1464レールでオープンしたユーロドルは小幅に売り進まれ、一時1.1439まで低下し、結局1.1451レールでNYに渡った。ポンドドルは1.2740レールでオープン。今月15日に控えた離脱案の議会投票が否決されるのではとの思惑からポンドは1.2717まで下落し、1.2741レールでNYに渡った。
ニューヨーク	ドル円は108.88レールでNYオープン。NY朝方は米通商代表部が「中国が米国から農産物とその他の物品を更に購入と約束」と発表するが、今年利上げ1回を支持しているボスディック・アトランタ連銀総裁が「政策は両サイドに動く可能性がある。ダウンサイドリスクがすべて具現化してくれば、利下げも検討」と話し、初めてはっきりと利下げの可能性について言及したことから、ドル売りが一気に持ち込まれ、108.05まで下落する。その後一旦108.41まで戻すが、NY午後には発表されたFOMC議事録で、「追加利上げの時期がより不透明になった」等、ハト派と取れるような内容が明らかになり、再びドル売りが強まったことで108.04まで下落する。その後低下していた米金利が下げ渋る展開にドル円も108.36まで戻す。しかしNY終盤になり、民主党幹部と会談していたトランプ大統領が時間の無駄と途中で退席したことや本邦新聞社英語版で、「中国の国有会社への補助金問題で米中間に溝がある」と報じたことが材料視され、一時107.97まで下落。結局108.15レールでクロスした。一方、ユーロドル1.1451レールでNYオープン。NY朝方は海外市場の流れを引き継ぎ、狭いレンジでの推移が暫く続くが、前述のハト派なボスディック総裁の発言を受けたドル売りにレジスタンスとして意識されていた1.1500を上抜けし、1.1541まで上昇する。その後利益確定の売りに1.1509まで下押しするが、再び1.1538まで戻す。NY午後にはFOMC議事録を受けたドル売りに1.1560まで上押し、1.1542レールでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:上野・田家